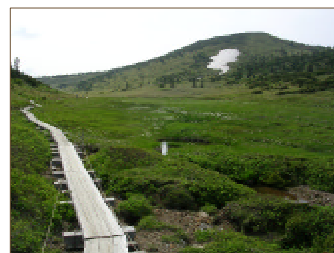




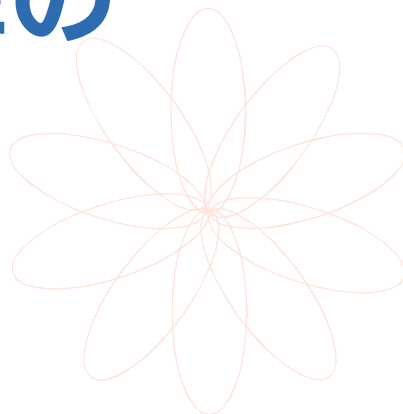
# 福島県あづま吾妻連峰の 高山植物たち



浄土平と吾妻小富士



高層湿原（鎌沼）



**吾**妻連峰は福島県福島市の西側、山形県との県境周辺に位置し、国立公園の中では第3位の面積規模(186,404ha)をもつ磐梯朝日国立公園に含まれています。吾妻連峰は、西吾妻山(標高2,035m)を主峰とする2,000m級の山々からなり、那須火山帯では最大の火山群となっています。吾妻連峰山頂部は標高からみても気候的には亜高山帯に属するので、本来ならオオシラビソを中心とした樹林が成立します。しかしながら、山頂周辺部は風が強く積雪量が多いという厳しい環境であるため、ハイマツの低木林などに代表される高山植生が成立し、多くの高山植物が生育しています。吾妻連峰の東端には、すり鉢型の火口をもつ吾妻小

富士、現在もお噴煙を上げる一切経山、そして、これらの山に囲まれた標高1,580mの平坦地である浄土平などがあり、このあたりでも高山植物を見ることができます。浄土平には、レストハウスのほか、ビジターセンターや天文台があり、磐梯吾妻スカイラインが開通する4月下旬から11月中旬までの期間、各地から多くの観光客が訪れます。また、周辺には、国指定天然記念物である「吾妻山ヤエハクサンシャクナゲ自生地」があります。このヤエハクサンシャクナゲ(ネモトシャクナゲ)は、ハクサンシャクナゲの花が八重咲きになったもので福島県の花にも指定されています。

**そ**もそも、高山植物とはどのような植物のことを言うのでしょうか。

本州の中部地方あたりでは、森林は標高2,500m付近で途絶え(この場所を森林限界という)、それより標高の高い場所には、地面を這うように生育する低木類や草花しか見られません。一般的に、このような場所を高山帯と呼び、主にこの高山帯に生育する植物が高山植物なのです。高山帯は非常に苛酷な環境であり、様々な環境要因によるストレスを受けます。そのため、このような環境に立ち向かうことができる限られた植物しか生育することができず、独特な景観が形成されるのです。



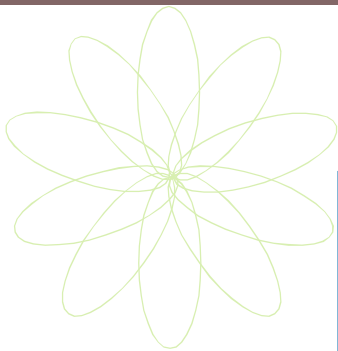
谷部の残雪(6月下旬)



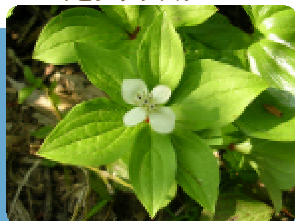
登山道の残雪(6月下旬)

## 高山帯の環境

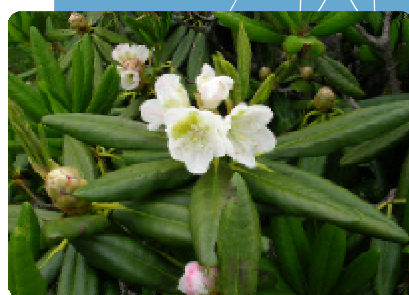
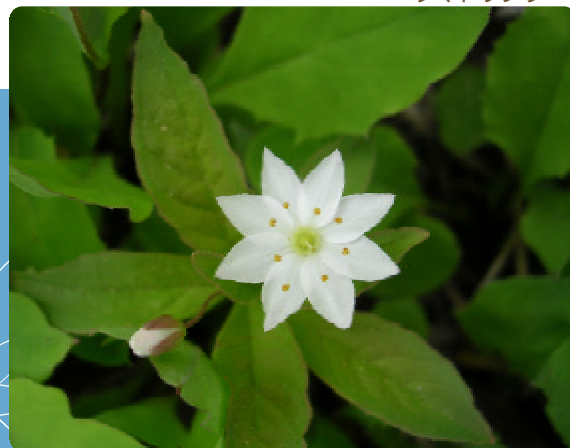
環境要因	影響
気温	低温による凍結、生長期間の制限。微生物による分解速度の低下。
日照	悪天候による日照量の低下。紫外線による細胞破壊。
風	特に冬季の強風による乾燥、物理的な損傷。
土壌	有機物の供給源が乏しく未発達(貧栄養)。
積雪	残雪による発芽時期の遅れ。雪崩等による物理的損傷。



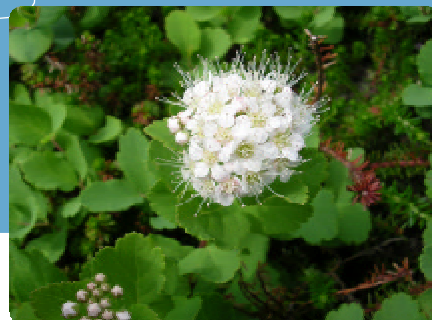
ゴゼンタチバナ



ツマトリソウ



ハクサンシャクナゲ



マルバシモツケ

**高**山帯に見られる植物の多くは多年生の草本植物であり、いわゆる「お花畑」をつくりだします。一年の大半が雪に覆われている場所が多いため、これらの植物は雪解けとともに一斉に光合成による生長を開始し、次の積雪が始まる前に花を咲かせ、次世代のために種子を生産しなければならないのです。通常、平野部で生育する植物が半年から一年で行うライフサイクルを高山帯では数ヶ月で完了しなければなりません。同時期に多くの高山植物の開花に出会うことができるのはこのためなのです。ただ、積雪量が多い年などで雪解けが遅れると、種子生産が間に合わずにその年を終えてしまうこともあるのです。高山帯には、ハイマツ、ガンコウラン、イワヒゲなどの木本植物も見られますが、背丈

が低く地面を這うように生育しています。また、葉の形状も特徴的であり、強風による乾燥から身を守るため、線状やウロコ状の構造となっており、気孔は外気に直接さらされないために内側に存在しているものが多いのです。

**こ**こで、浄土平周辺で見られる植物をいくつか紹介したいと思います。

ハクサンシャクナゲ（ツツジ科）

：主に亜高山帯に生育する常緑低木。6～7月に開花し、花の色は、白色、淡紅色、紅色、淡黄色など様々である。北海道、本州（中北部）、四国に分布する。

ツマトリソウ（サクラソウ科）

：亜高山帯の草地や林縁に生育する多年生草本。6～7月に開花し、上向きに7裂した白色の花をつける。北海道、本州、四国に分布する。

マルバシモツケ（バラ科）

：山地帯から高山帯の礫地に生育する落葉低木。6～7月に開花し、白色の花を多数つける。北海道、本州（中北部）に分布する。

ゴゼンタチバナ（ミズキ科）

：高山帯の針葉樹林下に生育する常緑の多年生草本。6～8月に開花し、白い花びら状の総苞と筒状花からなる花序をつける。北海道、本州、四国に分布する。

**こ**の浄土平へ向う際に利用する磐梯吾妻スカイラインは「日本の道100選」に選ばれ、日本有数のロケーションを持つ有料道路です。浄土平までは福島駅から車で約1時間と比較的近く、バスも運行していますので夏場の暑い盛り避暑地として訪れてみてはいかがでしょうか。

【東北支社自然環境研究室・松川直寛】

## 福島県吾妻連峰の高山植物たち

PRESENTED BY NAOHIRO MATSUKAWA